

＜意見交換結果＞ 具体的な導入施設と公園内での配置・数などを検討しました。

○主な意見・施設



施設配置例

項目	施設	意見
防災	かまどベンチ、防災倉庫 防災解説パネル 防火水槽、防犯カメラ ソーラー園内灯	・かまどベンチは、火を使うため、水飲みの近くに配置するとよい。
遊び	ロッキング遊具、鉄棒	・他の施設に影響が少ない端の方に配置するとよい。
みどり	落葉の少ない樹木、花壇 日よけ目的の木 季節感のある樹木	・水分を多く含む防火機能の高い樹木があると、防災にも役立つと思う。
エントランス	車止め	・見通しを考慮し、出入口は2箇所がいい。 ・車いすの出入りも考慮したい。
その他	ベンチ、屋根付きベンチ パーゴラ、水飲み 園内灯(時計付)	・園内灯(時計付)は、盤面が見やすいように真中奥に配置する ・屋根付きベンチは、日よけとして休めるのがいい。 ・木製でボロボロの施設もあるため、長持ちする素材がよい。

＜質問事項の回答及び導入施設に対する区の考え＞

敷地境界からの道路後退の必要はないのか？	本公園では、敷地境界からの道路後退はない。
対象地に井戸はあるのか？	既存の敷地には井戸はなく、新設での設置も考えていない。
出入口部で車いすを配慮したスペースはできるのか？	120cm以上の十分な通行幅を確保する。また、飛出し防止のための車止めや、バイクの乗入れ禁止のルール周知も必要と考える。
駐輪スペースはつくるのか？	敷地が狭いため、つくる予定はない。
敷地東側は出入りができず、避難場所として無理があるのではないのか？	民地境界に出入口をつくるのは難しく、公道に面して出入口を設け、出入りしやすいように工夫していく。
敷地外周のフェンスの高さは？	1.8m程である。フェンスなどの境界部分の作りは隣接住民に意見を伺いながら決めていく。
子どもの指の挟みこみがあるので、バネ付きの遊具ではない方がいいと思う。	導入する遊具の種類は、安全面を考慮し選定していく。
ベンチへの寝転びを防ぐことも考慮してほしい。	肘掛け付きのものにするなど工夫が必要と考える。

4. 第 3 回検討会の案内 オープンハウス形式で開催します！

第 3 回検討会は、オープンハウス形式で開催します。第 2 回検討会の結果を踏まえた公園のイメージ平面図と 3D イメージを提示し、ご来場いただいた皆様に、常駐の職員・スタッフがご説明いたします。

➤ 日 時 令和 6 年 9月25日(水) 16:00～20:00

※最終入場:終了時間の15分前 9月29日(日) 9:30～12:00

➤ 会 場 月光原住区センター 第 1・第 2 会議室
(所在地:目黒区目黒本町四丁目 16 番 18 号)

➤ 参加方法 申し込みは不要です。当日会場へお越しください。
※時間内は自由に入退場できます。車でのご来場はご遠慮ください。

【お問合せ先】

目黒区役所 都市整備部 みどり土木政策課 施設整備係 担当:戸木田、柿崎、伊藤
電話:03-5722-9753 ファックス:03-3792-2112
メール:midoridoboku07@city.meguro.tokyo.jp

目黒本町六丁目公園（仮称）ニュースレター 第2号

目黒本町六丁目(円融寺前バス停付近)に新しい公園をつくります！

このニュースレターは、目黒本町六丁目公園(仮称)の整備に向けた取り組みについてお知らせします。

➤ 目次

- 1.目黒本町六丁目公園(仮称)整備事業について ……P1
- 2.公園整備のスケジュール ……P1
3. 第2回検討会の結果 ……P2～4
4. 第3回検討会の案内 ……P4

1. 目黒本町六丁目公園（仮称）整備事業について

地域の防災性及び生活環境の向上を図るため、「目黒本町六丁目21番10号」の土地を公園用地として取得しました。令和7年度の公園整備に向けて、今年度検討会を全3回にわたって開催し、地域の皆様と情報を共有し、意見を交換しながら整備内容をまとめていきます。

目黒本町六丁目周辺の課題

みどり・環境面	防災面
✓ 公園・みどりが不足 ✓ みどりの充実と日常的に利用できる公園が必要	✓ 木造住宅密集地域 ✓ 避難地として活用可能なオープンスペース(公園)の整備が必要



計画地の現況

2. 公園整備のスケジュール

日程	項目	内容
令和6年6月1日	第1回検討会	公園整備方針についての意見交換 済
令和6年6月	アンケート調査	導入施設や公園への要望について 済
令和6年7月28日	第2回検討会	導入施設について意見交換 済
令和6年9月 25・29日	第3回検討会	イメージ平面図と3D イメージの提示 次回
令和7年度	公園整備工事、開園	

次回の第3回検討会は、9月25日(水)と9月29日(日)に、オープンハウス形式で計2日開催します！（詳細は P4 をご覧ください）

○オープンハウスとは？

展示パネルなどに資料を掲示し、参加者が自由に見学する事が可能な場を設ける手法です。

当日は、職員・スタッフが常駐し、適宜、展示する公園のイメージ平面図や3D イメージについて説明を行い、質問等にお答えします。

開催時間内であれば、自由な時間に入退場することができます。



オープンハウスイメージ

3. 第2回検討会の結果

令和6年 7 月 28 日(土)13:30 から、月光原住区センターで、第 2 回検討会を開催しました。8 名のかたにご参加いただき、第 1 回検討会とアンケートの結果を共有した上で、具体的な導入施設について意見交換を行いました。

➤ 第1回検討会意見と WEB アンケート結果のまとめ

第1回検討会意見と、6月に実施した公園整備に関するアンケートの結果をご説明しました。

<第1回検討会の全体傾向>

- ✓ **利用イメージ**としては、敷地が小さいためベンチやみどりなどの**シンプルなつくり**が望まれている
- ✓ 防災関連施設の要望や避難時に適した施設配置、前面道路の横断など、**安全・安心**に関する意見が多い
- ✓ 公園利用の**マナー・ルール**に関してや、利用時や工事中の**近隣への影響**を気にする意見が多くみられた
- ✓ **みどり・いきもの**も望まれているが、**維持管理面**を配慮する意見もみられた

回答者年齢

13～18歳	1 人
30～39歳	6 人
40～49歳	6 人
50～59歳	4 人

回答者居住地

目黒本町六丁目	9 人
碑文谷一丁目	4 人
目黒本町四丁目	3 人
平町二丁目	1 人

↑アンケート結果のまとめは上のコードからご覧いただけます。

<アンケートの結果>※一部抜粋

概要：公園で重視したい点や欲しい施設などに関するアンケート調査

調査方法：WEB アンケート方式

回答期間：令和 6 年6月19日(水)から7月4日(木)

回答数：17

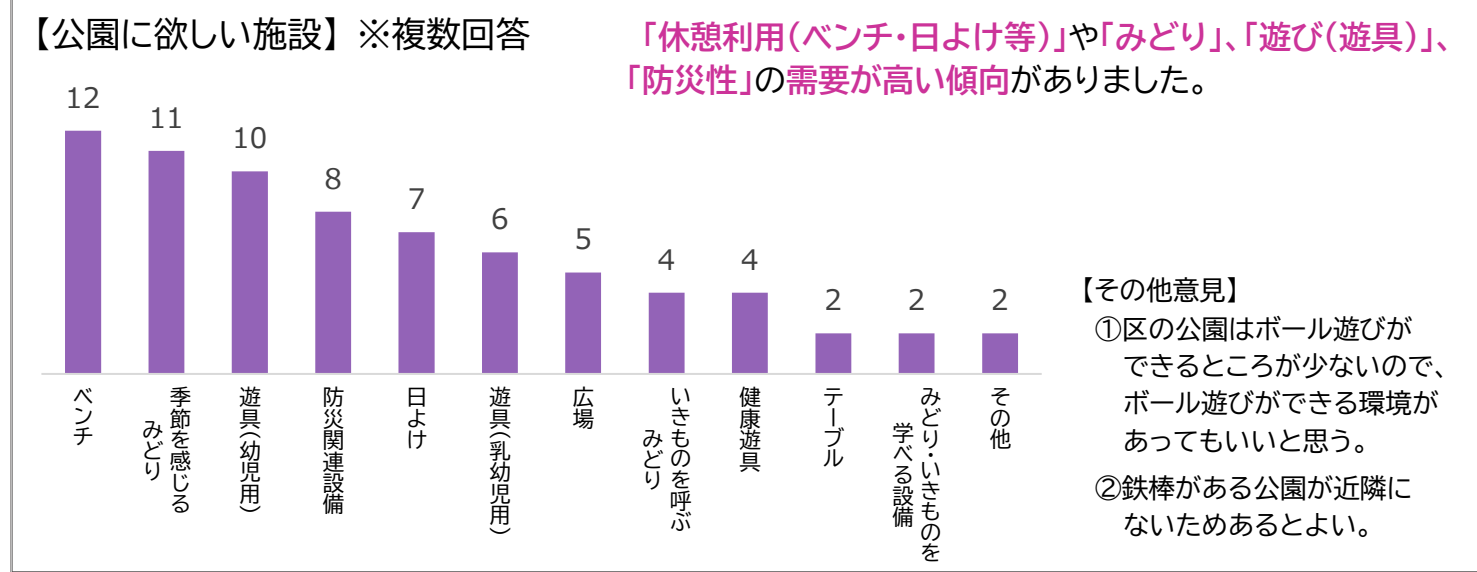
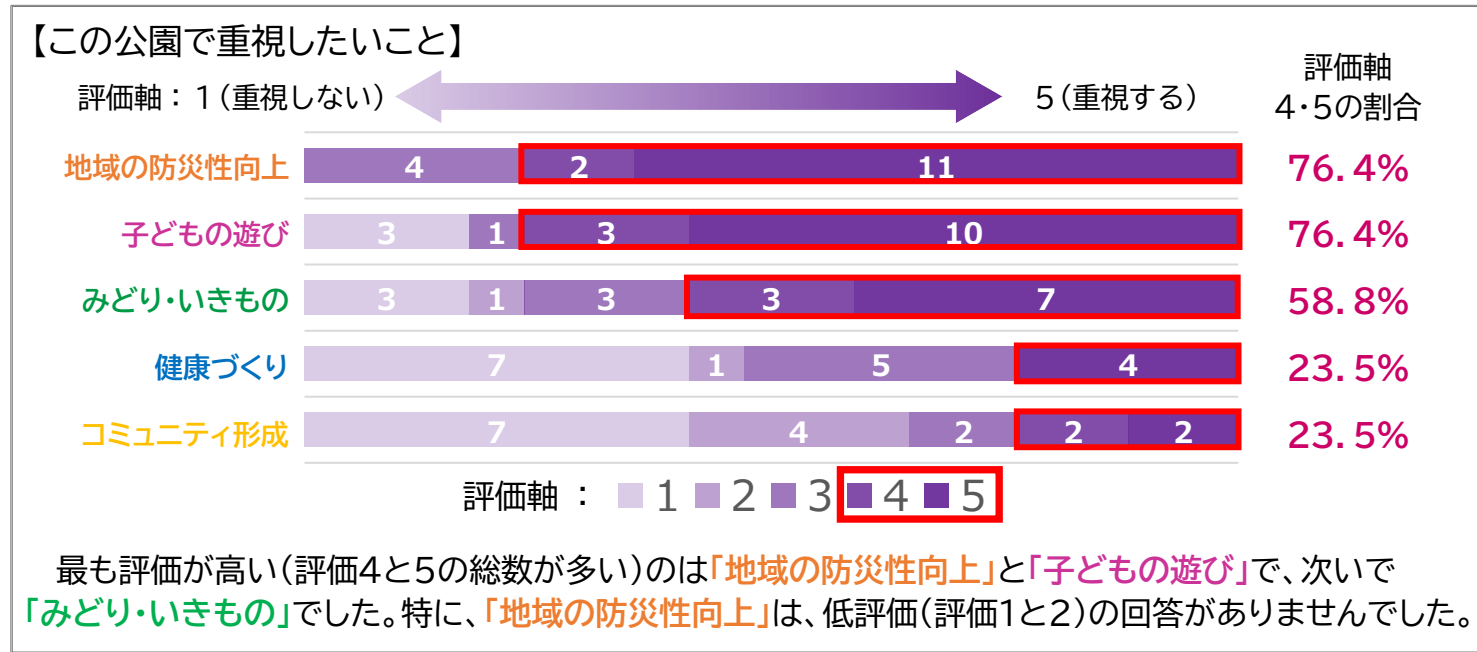
回答者年齢

13～18歳	1 人
30～39歳	6 人
40～49歳	6 人
50～59歳	4 人

回答者居住地

目黒本町六丁目	9 人
碑文谷一丁目	4 人
目黒本町四丁目	3 人
平町二丁目	1 人

↑アンケート結果のまとめは上のコードからご覧いただけます。



<アンケートでの自由意見(一部抜粋)に対する区の考え>

- Q. ボール遊びができるようにしてほしい。
- A. 本公園は小規模であり、ボール遊びと他の公園利用とのエリア分けが困難であるため、球が人や物に当たり事故が起きる危険があります。そのためキャッチボールやサッカーなどの球技はできないようにする方針です。小さい子どもがゴムボールで遊ぶこと等は禁止しません。
- Q. 鉄棒を設置してほしい。
- A. 今年度新しく整備する向原東みんなの街かど公園(目黒本町 6-10-1、本公園から 300m)に鉄棒を設置します。いろんな遊びをしてほしいため、本公園には、周辺の公園とは異なる遊具を設置するのが望ましいと考えます。

<第1回検討会とアンケート結果のまとめ>

- ✓ 防災面等の「**安全・安心**」と「**みどり・いきもの**」を重視する点が共通している。
- ✓ 検討会では計画地の規模から**遊具を置かない**という意見もあったが、アンケートでは「**子どもの遊び**」を重視する意見、**遊具(幼児用)を設置**してほしいという意見もあった。
- ✓ 具体的な施設でも「**防災関連施設**」や「**ベンチ**」、「**みどり**」が共通して多数の意見として挙げられていた。

➤ ゾーニング案の提示

具体的な導入施設を考えるために、これまでの意見交換やアンケート結果などをもとに、公園のコンセプト案とゾーニング案を提示しました。

<公園のコンセプト案>

人と人 人とみどりをつなぎ 地域をまもる公園

<公園の整備方針案>

- 防災×遊び**
シンプルなつくりながら、
防災と遊びの機能を備えた空間とする
- みどり×いきもの**
季節の移ろいの中で、
身近なみどりやいきものに親しむことができる
- ユニバーサルデザイン × 安全・安心**
地域の中にいる多世代が共に利用し、
安心して憩える場とする

<ゾーニング案>

※ゾーニングとは
公園敷地内の**空間を用途・機能ごとに一定の範囲にわけ**ること

➤ 意見交換

第1回検討会やアンケート結果、ゾーニング案などをもとに、参加者の皆さんと導入施設について意見交換を行いました。
意見はふせんにまとめ、グループに分けを行い、平面図上で具体的な配置を検討しました。

